

第7回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」

日時 平成30年12月16日(日)10時00分～12時00分

会場 吉野町中央公民館

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>他府県と比べて人口減少や高齢化が急速に進む奈良県では、どのような人口構造になっても健康に暮らせるよう、健康寿命日本一を目指しています。</p> <p>健康寿命を延ばすためには、県民自らが、年齢や健康度に合わせた健康行動をとる必要があります。県では、バランスの良い食事、適度な運動、適切な社会行動の3種類の健康行動に関する取組を推進しています。主な取組として、こども食堂の充実や、まほろば健康パークの機能強化、おでかけ健康法の普及等に努めています。</p> <p>取組の推進にあたっては、健康寿命をはじめとして、野菜摂取量や運動習慣者の割合、がん検診受診率等の各種指標の数値を示すことで、健康行動に対する県民の意識向上につなげています。いずれの指標も数値は良くなる傾向にあります。特に奈良県のがん年齢調整死亡率は、12年間で全国34位から6位に改善し、12年間の減少率は全国1位となっています。</p> <p>一方、救急搬送受入体制の改善や県立病院の再編整備等、医療提供体制の整備も進めています。また、住まいを中心に医療・介護・生活支援サービスが行き届くよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。さらに、医療保険の安定経営に向けた取組として、国民健康保険の県単位化、医療費適正化等を推進しています。</p> <p>今後も、「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」を、市町村と協働しながら積極的に行っていきたいと考えています。</p>

資料説明	北岡吉野町長
	<p>吉野町では、住民の皆さんと協働した地域の活動として、マンデーグラウンド・ゴルフや、吉野健康ウォーキング等を行っています。マンデーグラウンド・ゴルフの参加者にアンケート調査をしたところ、「男女区別なく楽しい」「仲間が増える」といった声が多く、好評を得ています。人生の最期まで幸せに暮らせるまちを目指して、今後も健康づくりや介護予防に関する取組を広めていきたいと考えています。</p>

資料説明	岡下大淀町長
	<p>大淀町では、男性の地域活動への参加率が低いことに着目し、「男の介護予防トレーニング教室」を実施しています。また、認知症施策として、「やすらぎカフェ」を大淀高等学校や美吉野園と協働して実施したり、介護職の人材不足を改善するための医療・福祉就職応援フェアを開催しました。今後も、多職種連携により効果的かつ効率的に取組を進めていきたいと思えます。</p>

資料説明	南下北山村長
<p>下北山村では、全国と比較して喫煙率が高いことに着目し、禁煙サポーターによる中学生を対象とした防煙教室や禁煙外来治療費の助成を行っています。また、がん予防や慢性腎臓病予防に関する参加型の講演会を開催したり、誤嚥（ごえん）性肺炎予防や認知症予防として口腔健診等を行っています。今後も、さまざまな保健事業を実施し、誰もが健やかに暮らせる地域づくりに努めていきます。</p>	

資料説明	山室上北山村長
<p>上北山村では、健康・医療・介護のサービス拠点として「ワースリビングかみきた」があります。本村は高血圧にかかる医療費が高いため、職員が連携して健康相談や健康指導を行い、高血圧予防に関するチラシを作成して広報活動を行っています。今後も、安心して地域で暮らせるよう、多職種連携により、さまざまな取組を円滑に行っていきたいと考えています。</p>	

資料説明	栗山川上村長
<p>川上村では、コミュニティナースの取組に力を入れています。コミュニティナースは、一般社団法人「かわかみらいふ」に常駐し、地域に出向いて、住民に直接ふれあい、身体の異変にいち早く気づくことを目指しています。また、同法人では、出張診療や買い物支援等も担っています。こういった取組を通して村民同士のコミュニケーションが深まり、自分たちの村は自分たちで守るという意識が芽生えてきていると思います。</p>	

資料説明	水本東吉野村長
<p>東吉野村では、子育て支援の取組を進めています。一つは、子育てサロン「びよびよサークル」を開催し、育児不安の解消や母親同士の交流の場を提供しています。また、年4回、乳幼児検診を実施し、医師、管理栄養士等から専門的なアドバイスを行っています。少子高齢化が進む中、子どもは村の宝です。今後も、誰もが住みなれた地域で笑顔で暮らせるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>健康づくりは、地域ぐるみで健康行動をすることが大事です。大淀町長の話にもありましたが、男性高齢者の地域活動への参加率が低いという課題がありますので、例えば、吉野町で取り組まれているグラウンド・ゴルフを町民スポーツにして、男女関係なく活動できる場を設けることも、一つの案として考えられるのではないかと思います。</p>	

質疑応答①	住民と行政が共に取り組む健康づくりにはどのようなものがありますか。(吉野町在住者)
<p>(北岡吉野町長)</p> <p>吉野町では、健康づくりから介護予防につなげていくため、各種取組に関する調査や、サポーターの養成等を行っています。</p> <p>(栗山川上村長)</p> <p>健康には、食事・運動・コミュニケーションが大事だと考えています。本村では、「かわかみらいふ」を展開することで、住民のコミュニティが広がったことが非常に良かったと思います。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>健康づくりは、住民の皆さんの協力が必要不可欠です。双方の意思を伝える役割として、コミュニティナースの存在は大きいと思います。</p>	

質疑応答②	各課題に対応した特色ある取組を実施する中で、実感していることはありますか。(大淀町在住者)
<p>(岡下大淀町長)</p> <p>介護予防リーダーを養成する中で、応募される方は、「まずは自分の健康のために行う」という意識から、徐々に、「地域の人の健康のために行う」という意識に変化していくように感じています。</p> <p>(南下北山村長)</p> <p>下北山村では、過疎地域ならではの取組として、住民一人一人の状況に応じた健康管理を行っています。今後も一人一人に寄り添った健康づくりを行っていきたいと思います。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>健康寿命を延ばすためには、ターゲットを決めて効果的に事業を実施し、住民の皆さん</p>	

と目標の共有化と行動の共同化、プロセスの見える化を図ることが重要と考えています。

質疑応答③

高齢者が健康で安心して住み続けていくために力を入れている取組はありますか。(上北山村在住者)

(山室上北山村長)

上北山村では、「ワースリビングかみきた」に専門職を配置し、事務職も交えて地域ケア会議を行っています。医療、介護等のサービスを切れ目なく提供できるよう取り組みたいと思います。

(水本東吉野村長)

東吉野村では、若者の移住に力を入れています。今年度、新たに2名の保健師を採用し、新たな体制のもと、村民の健康づくりに取り組みたいと思います。

(荒井奈良県知事)

若者の定住を促進するためには、救急医療搬送が可能な環境、インターネット環境、未就学児を含め少人数でも良い教育ができる環境の3つの要素が重要ですので、今後も推進していきたいと考えています。